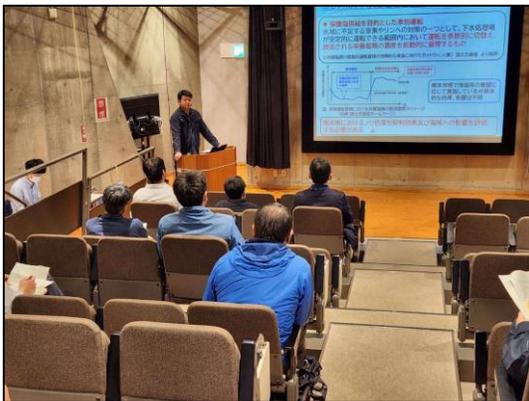


【No.1】水産研究・普及合同報告会を開催しました!【担当:企画情報室】

事業名:水産業広報・研修事業

概要:企画情報室では、毎年、水産技術職員の資質向上を目的に、当センターの研究者や各広域本部水産課の水産業普及指導員による研究結果や普及活動について報告会を開催しています。今年度は12月18日に開催し、研究11課題・普及活動4課題の計15課題について報告があり、活発な意見交換が行われました。また、板倉特別研究者からも、継続した調査研究の必要性や水産業の担い手確保に向けた課題等について意見をいただきました。報告会の意見を踏まえ、引き続き、研究や普及活動に取り組んでいきます。



写真① 研究・普及合同報告会の様子

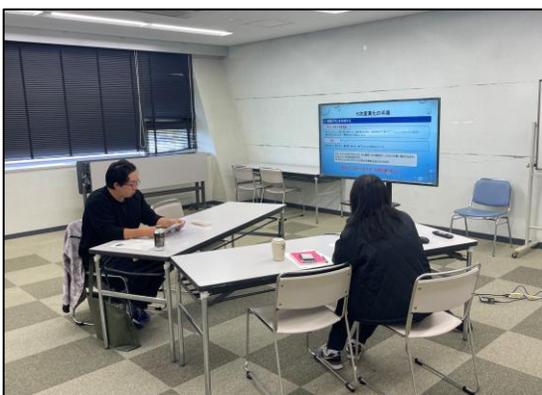


写真② 板倉特別研究者の講評

【No.2】漁業者セミナー(漁業士養成コース)を実施しました!【担当:企画情報室】

事業名:水産業広報・研修事業

概要:企画情報室では、地域漁業の中核的漁業者を養成するためのセミナーを実施しています。今年度は10月に県北地域のノリ養殖業者、12月に天草地域の漁船漁業者を対象にセミナーを実施しました。12月のセミナーでは、漁業士として必要なリーダーシップや漁業関係法令、将来の加工品開発を見据え、当センターのオープンラボの見学や食品衛生に関する授業等を行いました。今後も、中核的漁業者の養成に向けてセミナーを実施していきます。



写真③ 漁業者セミナーの様子



写真④ オープンラボの見学

【No.3】ワカメの生産技術開発試験を行っています!【担当:食品科学研究部】

事業名:海藻類総合対策試験(海の再生及び環境対策特別委員会関連事業)

概要:ワカメは天草地域を中心に養殖されていますが、近年の高水温化や生物による食害等により生産量が減少しており、優良系統の作出が求められています。食品科学研究部では、複数の産地の配偶体(ワカメの種)から系統を選抜し、実際に海域での生長性等を把握するための養殖試験を実施しています。11月末から実際に沖出しを行い、系統別または漁場別に評価を行うことで、今後の優良系統作出に向けたデータを蓄積していきます。



写真⑤ 現場試験の状況



写真⑥ 生長性の確認

【No.4】ヒトエグサの人工採苗網配付後の現地確認を行っています!【担当:食品科学研究部】

事業名:海藻類総合対策試験(海の再生及び環境対策特別委員会関連事業)

概要:食品科学研究部では、10月以降生産者に配付したヒトエグサの人工採苗網について、天然採苗網と比較した際の芽付の状況や生育状況等についての現地確認を行っています。また、現地確認時には、網の管理指導や今後の生産に向けての情報提供も併せて行っています。3月には配付した網を回収し成熟状況を確認することで、来シーズンの人工採苗網作成に向けた準備を進めていきます。



写真⑦ ヒトエグサ養殖漁場



写真⑧ 配付した人工採苗網

【No.5】漁業者と連携した赤潮抑制試験を実施しています!【担当:企画情報室、浅海干潟研究部】

事業名:赤潮総合対策試験(海の再生及び環境対策特別委員会関連事業)

概要:赤潮は夏場だけではなく、水温が低下する冬場にも発生します。当センターでは、12月から発生している有害赤潮プランクトンの抑制を図るため、1月以降、赤潮駆除剤の有効性を確認するための室内試験や、地元漁業者と連携して、競合種である珪藻を散布することによる現地での抑制試験等を実施しています。今後は効果を検証することで、現場での対策の有効性等について評価をしていくとともに、発生している赤潮プランクトンのモニタリングも継続して実施していきます。



写真⑨ 珪藻散布の状況



写真⑩ 調査風景